



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

第7号

2005年5月



■お花見



■手作りお花見弁当

目次

- p1・2…………職員紹介
- p3・4…………デイ便り
- p5・6…………くらしとしごと
- p7…………地域の皆さんの声、保護者の声
- p8…………職員の声
- p9・10……高森寮の卵は安心・安全・おいしい!
- p11…………ほほえみコーナー

事務所

職員紹介

花壇のまわりは毎年芝桜が満開となります。



たくさんの利用者の方が訪れる事務所。癒しのオーラが出てます！出てます！

(左から) クー、小雪、手島 智子(副施設長)、手島 清士(施設長)、榎木野 秀徳

デイサービスセンター



午前中はこの若い女性2名、午後からは男性も加わり3名で多くの方のご利用をお待ちしています。

(左から) 興梠 真紀 橋本 精男 渡辺 理世

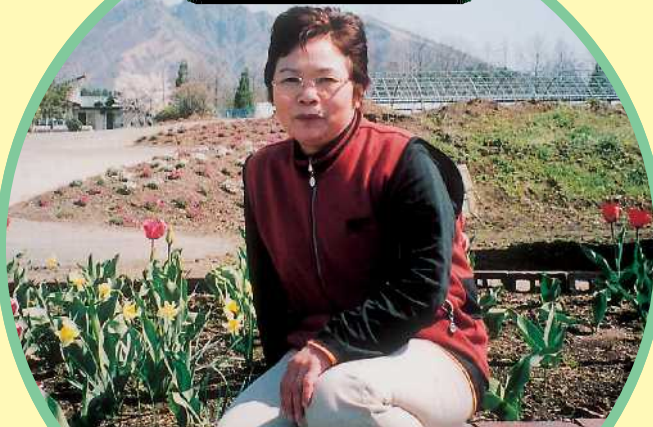
作業区職員



今年は男性3名、女性3名でがんばりまーす。なかなかバランスとれてるでしょ？

(左から) 山村 哲也、工藤 教昭、栗屋 千代美、友岡 康幸、後藤 裕子、今村 恵理

看護師



せっかくの春の一日。こんな花壇の前でポーズをどらなくちゃ！

津留 きぬ子



花壇のパンジー

夜勤者

高森寮の夜の安全は私達におまかせ！
「頼りにしてまーす。」



立山 定雄



桐原 利光



柿添 宏昭

生活区



ほほえみが一番よく似合う?! 生活区職員。
誰のほほえみが素敵ですか？

(後列左から) 堀 かおる、後藤 理恵、片山 浩美、吉岡 美紀、
田原 勝美、安達 京子、山村 京子
(前列左から) 大住 はつ子、住吉 富美子、佐藤 美香



全体

色々な事をマ儿子にこなし、高森寮で大活躍中!!
一家に一人居てほしい存在です。
「育三ちゃん!」…今日もどこかで呼ぶ声が…。

宇藤 育三

栄養課



空も桜も写っている私達もキレイでしょ。
少し緊張気味の様ですね。

(左から) 今村 キミエ、工藤 直子、工藤 哲子、
藤田 のり子(栄養士)、高宮 良子

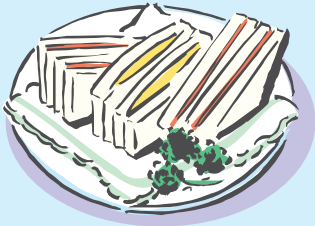
モモ



「スタッフ紹介3回目にして、やーっ
と出番がきたわー。」
「ここに来て6年になりまーす..」

デイ便り

デイサービスセンターでは、毎月、活動の一環として“クッキング”を行っています。この一年に取り組んだメニューの一部を紹介しま〜す。



〈サンドイッチ〉
 ●チーズハムサンド
 ●タマゴサンド
 ●フルーツサンド の完成です。



パンに具をはさんで…。
 (左から)高倉 裕也さん、
 宇藤 香美さん



〈ショートケーキ〉
 これを「ビスケットケーキ」と名付けました!



「クッキング
 毎回楽しんでま〜す。」
 (左から)高倉 裕也さん、
 古澤 孝昭さん

この他にも



自分達で植えて掘り上げた芋から作った
 〈スイートポテト〉



「高森寮の有精卵」を使った
 〈蒸しプリン〉
 花壇のミントの葉を
 のせてみました。



春巻の皮にココアを
 まぶして焼き上げた
 〈ココアスティック〉

センターでは
 気軽に作れる
 “お手軽メニュー”を
 随時募集中で〜す。
 情報お待ち
 してま〜す。

～これまでの作品紹介～

湧水トンネル クリスマスツリー コンテスト入賞!!

昨年暮れに行われた「高森湧水トンネル クリスマスツリーコンテスト」において、デイサービスセンターご利用の皆さんを中心に作成したツリーが、堂々の「三席」を受賞しました。

代表して
森川 瞳さんが
表彰式に参加
されました。



これが見事「三席」に輝いたツリーです!!
「受賞のポイントは？」
「ずばり“はりこ”でしょう!!」

前回、
ご紹介できなかった
「はりこ」の作品。
食べ物、動物、乗り物
など色々完成しました。
どれが、何を表して
いるのでしょうか？



こちらは
牛乳パック、チラシ、
トイレットペーパー
の芯などを使った
作品です。



冬場はフェルト作りもやってみました。



毛糸を少しずつ
ほぐして…



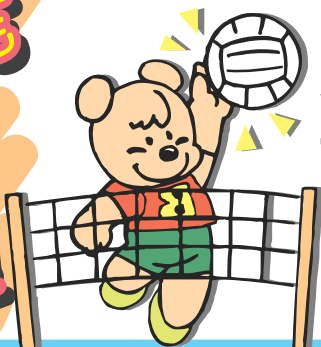
フェルトの布を
作って…



こんな小物を
完成させました!!

「時々、町の大会にも
参加して楽しんでます!!」

「今度はそこらへんね～」
「OK! OK!」



「うわぁ～」
「アハハ～」



デイサービスご利用のグループホームの皆さんと高森寮職員は月二回、近くの体育館でミニバレーボールの練習をしています。
運動不足・ストレス解消にもってこいです。

ミニバレーボール

ティータイム

午後3時半、皆さんが午後のティータイムを楽しんでいる時間です。
そんなティータイムの最中にお邪魔してみました。



星野 紀代美さん
食べているところをパチリ。
今日は何のお菓子でしょうか(^-^)



テーブルの上には…



おせんべいにクッキーに
ドーナッツ…。
どれもおいしそうですね。



お風呂からあがって
喉が渴いている時の
コーヒーは最高♡

左:藤原 五十子さん
右:山口 和美さん



思わずコーヒーが
飲みたくなりませんか?!
春崎 末子さん

話よりも食べるのに夢中!?
おいしいですか~??
「うまかよ」
本当においしそうですね。

左:森 武司さん
中:広田 孝さん
右:藤原 清人さん

くらしの
と
リズム

朝礼

毎朝、利用者による利用者朝礼が行われます。
話す内容は、昨日あったことや今日の予定等。
今日はどんな話題が出るのでしょうか…？



今井 あけみさん
本日の献立と勤務者が
皆さんに伝えられます。

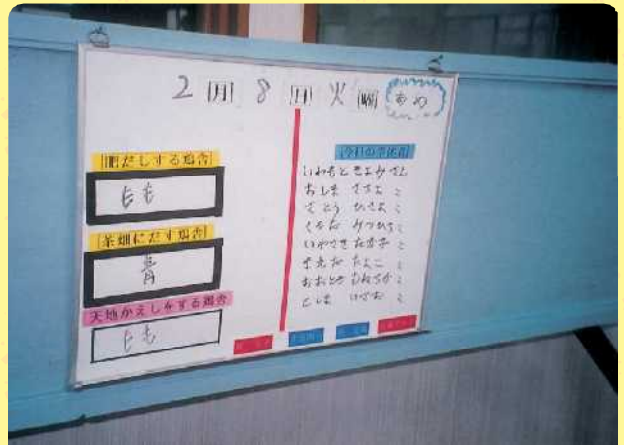


黒田 満浩さん
黒田さんの「お早うございます」の
声で始まります。



ひととおり申し送り事項の後
皆さんから意見が出ます。

「今日はテレビで歌があります」
「誰が出ると？」
「小林幸子が出るよ」
「昨日は映画を見に行きました」
「楽しかったね」等
話題が盛り上がります。



作業予定と半休者は、朝礼の中で
皆さんに伝えられます。

「今日の肥出しする鶏舎は
もも鶏舎です」
「茶畑に出すのは青鶏舎の鶏です」
「天地返しをする鶏舎は
もも鶏舎です」

こんにちは高森寮さん

地域の皆さんの声

体験学習から学ぶ

高森町ミニバレーボール協会会長

林 明さん



或る暖かい冬の日、気の向くままに高森寮を訪れる。「こんにちは」どこからともなく声が聞こえてきた。見渡しても周りに人影は無い。作業所を見ると一人の男性がこちらを見て立っている。オウム返しに「こんにちは」と声を掛けると笑顔がこぼれている。挨拶して気が和むものである。「よし、寮の皆と何か体験してみよう。」と寮長さんに承諾を得る。これから寮の皆さんと一緒に作業をするんだと気が高ぶる。

職員さんから作業所に案内され「こんにちは」とお互いに挨拶。「夕方まで少ない時間ですが一緒に作業をしますので教えて下さいね。」ふと、前に見覚えのある人がいた。手を差し出して握手をする。また一人「よろしく」。この時の手の温もりが伝わって来る。高森寮にも友達がいたんだと心強さを感じる。

作業畑は、かの有名な一心行桜のすぐ東側である。山積みされた堆肥が数十ヶ所あり、約三反一面にスリッパでばらまくと教えてくれた。「堆肥をばらまいて何を作るの?」「鶏の飼料であるトウモロコシを作るの。」「去年は台風の影響で全く収穫出来ませんでした。」と教えてくれました。作業は順調に進み皆さん頑張りました。「終わりましたよ。」「職員さんの合図です。作業は大変きつかったです。作業を終えホッとしました。」

高森寮は二千羽以上の鶏がいるそうです。仕事は各々分担されています。一貫作業で飼料、青物(牧草)と品質にこだわりコスト面にも気を配られているようです。高森寮の卵はトレサビリティ(生産自主管理)がなされている様に見受けられました。

有精卵で黄身が大きく味も良く美味しいです。町内外の大勢の人たちに食って頂きたいものです。「ほほえみ」愛読者の皆さんPRして下さい。

短時間の体験学習ではありましたが、彼達から教わった事を大事にしたいと思います。高森寮のみなさん今度はミニバレーボールで楽しんで下さい。また機会を見て勉強に行きますのでよろしく。最後に職員の方皆さん協力有り難うございました。厚くお礼申し上げます。

保護者の声

思い出

津田 美奈子さん

わが家の長女、富美子が高森寮でお世話になって、三十年近くが過ぎようとしています。当初は、心配や不安でいっぱいでしたが、すぐに寮の生活にも慣れ、その成長ぶりには驚かされました。在宅では習得が困難な作業等もしっかりと身につける事ができ、これもひとえに高森寮の皆様のおかげと感謝に絶えません。

毎週、日曜日に面会に来ていた父を三年前に亡くし、とても悲しい思いをしました。けれども、高森寮の計らいで旅行に行ったり、キャンプをしたりと父との楽しい思い出をたくさん作る事ができました。本当にありがとうございました。

母もあまり体調が思わしくなく、富美子は電話で「お母さん元気?」と、気づかいは忘れません。早く元気になって、一緒に外出できるように願っています。

寮の行事や面会に行く度に思う事は、まず環境が素晴らしい事、雄大な阿蘇の山々の景観にはとても感動します。そして日頃の生活に潤いを与えてくれます。

また、寮の玄関を入ると、あちらこちらから「こんにちは」と明るい声で迎えて下さるので嬉しく思います。

今、措置制度から支援制度へと大きな福祉改革の中、行政からの提供・施設の支援への依存意識をなくし、保護者と施設との間で共通理解と認識を深め高森寮の益々の発展を祈念致します。

最後に「障害は不便である。

しかし不幸ではない」というヘレンケラーの言葉通り皆が幸せになりますように……。



職員の声

オバサン ファイト!!

栗屋 千代美



高森寮に勤務して、早二十数年。勤務当初は、若くて色白でピチピチだった(?) 私も、今ではすっかりオバサンになってしまいました。昔は一週間や十日間通して仕事をしても平気だったこの体が、この頃では、夕方四時頃になると、グターツと疲れを覚えるようになりました。こういった施設では、利用者の方の高齢化が問題となっていますが、職員も同じです。ねえ。

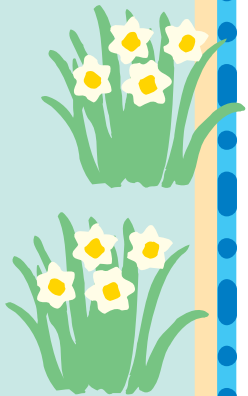
しかし、年を重ねてこそ見えるもの、思いをはせることができること、と言える事があると最近思います。利用者の方の今までの人生の重みや傷みに心を寄り添わせ、共に悩み、考え、日々を重ねていく等のエネルギーや深みを要する仕事は、若い時には出来なかったように思います。やはり自分自身年を重ね、人生を経て出来るものだと考えます。

施設に限らず、職場には色々な年齢層の人員構成が理想であると感じた事があります。という事は私達(他は誰?) オバサンも必要という事なのでしょう。

オバサンファイト!!

オバサンパワー全開で、

明日からも頑張ろうっ!!



この仕事を始めて

高宮 良子



不器用な私が高森寮の厨房の仕事に就いて早十一年が過ぎようとしています。そして、今回の原稿の依頼が私の方へ来てしまいました。た。「何でもいから」という事でしたが、まったくわからず、ギリギリまで悩んで頭を抱えこんでしまいました。いざ書こうとすると、今までの思い出が脳裏を掠めます。

この施設に勤務することになったきっかけは、一人の入院患者を見舞ったことです。自分もこのような施設、場所で働けたらと思い、不安・心配、たくさんあった中、思い切って見学、面接のために訪問しました。利用者と会って、はっきりとした言葉やあいさつ、誰でもやさしい笑顔にびっくりしました。いざ働き始めると不安、心配だらけで自分に向いているのかと心細くなりました。名前や性格を覚えることその他、いろいろなことがとても大変でした。自分が不安を持ったら利用者はもっと不安になると思いながら、接していくようにしました。今では、利用者ともうまく会話が出来るようになり、この仕事にも意欲が出てきて毎日、楽しく過ごしています。

デイサービスが始まり、曜日によって違った人達が利用され皆さん楽しそうにすごされています。また週3回の配食サービスも行っていて、厨房は大忙しの毎日です。社協の方、ボランティアの方々交代でお弁当を一軒一軒、声をかけ渡されています。「おいしかった」と言う言葉が聞けるとうれしく、食事を作っている者として心強く、「もっとがんばろう」と勇気がわいてきます。これからもおいしい食事を作るのが私達の役目だと思っています。



高森寮の卵は安心・安全・おいしい!



にわとりを与える緑草はその日の朝切った新鮮な物だけ!!
(右)大友 宗親さん



卵を拭いた後のタオルは消毒液につけ洗濯します。

卵が割れないよう、慎重にかごの中に卵を集めます。「う～ん今日もいっぱいあるなあ!!」
北野 広さん



毎日給餌配分表を見て、飼料を作ります。



洗濯したタオルを天日干し、殺菌します。

集められた卵は作業所へ集められ1つ1つ丁寧に手作業で拭きます。
森 武司さん



にわとりを与える餌です。緑草たっぷり!! にわとりも大喜び!!



卵配達車 (左)今村 恵理職員 (右)堀田 政浩さん



拭いた卵は1個1個計量し、グラム別に分けられ、パック詰めされます。
高倉 裕也さん



毎日鶏舎がきれいになっています。



運動場で元気に走りまわり... 採卵室でどんどん卵を産みます!!



中ヒナです。だいぶ大きくなったでしょう?



「私達生後まもなく高森寮に来てすくすく成長しています!!」この頃には少しずつ小さく切った緑草を食べます。今はまだ育雛室です。

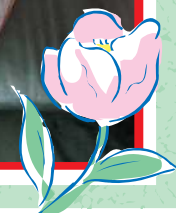
お中元・お祝い事等に



安心・安全・おいしいと評判の
地鶏有精卵を送ってみませんか!

ご注文、お待ちしております。

電話 0967-62-1780
ファックス 0967-62-2368



お中元・お祝い事等に
お送りください!!

ボンジュール・フロワンス 高倉 美那子さん

「こんにちは〜と、いつももの明る
い声、いつもの方が、毎週、新鮮な卵
を届けて下さいます。」

その方は高森寮の黒田さんです。鶏
を大切に育て、産まれた卵を丁寧に拭
いてパックに詰めて私達に届ける…。
そんな風に日々の仕事に励んでおら
れる職員、利用者の皆さんの姿が想像
できます。

我が家のお店では、その新鮮な卵で
ケーキを作りお客様にお出ししてお
ります。お陰様で評判は上々です。

お客様が□にする食材として使う
ものが新鮮で安全であることは絶対
です。そういう卵を作り続けてこれら
れた事を尊敬し、そしてこれからも作り
続けて欲しいと願っております。

又、いつも元気に卵を届けてくれる
黒田さんは家の愛犬「ムサシ」と仲良
しです。ムサシ
が居ない時は、
がっかりして
帰られます。職
員の方もいつ
も笑顔で好感
度一杯です。こ
れからも、おい
しい卵待って
まあ〜す!



作ってみませんか!!

卵料理

【巣ごもり卵】 使用する器は丸い物がよい!

- ①季節の旬の野菜(ホウレン草、小松菜、人参、もやし、キャベツ等)を食べやすい大きさに切る。
- ②フライパンにオリーブオイルをひいて野菜を炒め(ソテー)、塩・コショウで味付けする。
- ③丸い器に炒めた(ソテーした)野菜を入れて、中央をくぼませて、新鮮な高森寮の卵を割り、入れる。
- ④黄身を数ヶ所、爪楊枝で刺す。
- ⑤レンジで1分~1分半好みの状態に加熱する。



【材料】

- 高森寮地鶏有精卵
- ホウレン草、小松菜、人参、もやし、キャベツ等
- 塩コショウ

※次号も卵を使った料理を紹介します。

一口メモ

卵の殻をストックングに包んで、細かく砕き、すべりの悪くなった敷居をこすると、つるつるになり、滑りがよくなります。

ほほえみコーナー

利用者のいい顔を紹介します!!



穂口 伊津子さん

昭和15年11月21日
三角町出身 64才

春の暖かい日さしの中、陽なたぼっこ中、
「気持ちよかよ～！ここに座らんね。」
いつも笑顔がすてきです!!

知的障害者居宅介護事業について

(ホームヘルプサービス)

高森寮では、平成十六年四月から知的障害者居宅介護事業(ホームヘルプサービス)を運営しています。

自宅で生活されている利用者の方々の介護、家事、生活に関わる援助を行います。

お気軽に各町村役場、高森寮までご連絡ください。

シリーズ

「苦情解決委員会からの報告」

◆苦情内容

ハウス内に干している洗濯物の乾きが悪い。

◆解決方法

日当たり、風当たりをよくするため、東西に渡っていた物干し竿を南北に渡すよう向きをかえてみた。

◆苦情に対する結果

乾きもよくなり、洗濯物干し、取りこみもやりやすくなったとの報告あり。

お詫びと訂正

「ほほえみ」第6号「ふれあいフェスタ・外販コーナー」出店者は、「久木野のなのはな畑さん」ではなく「高森町の菜の花万十さん」でした。

お詫びを申し上げますとともに紙面をもつて訂正させていただきます。



高森町の〈菜の花万十〉さん

編集後記 (ほほえみ会の声)

行楽シーズンの到来ですね。皆さんは、もう計画をたてられましたか？
高森寮では「泊旅行を予定しています。

さて、「ほほえみ」も第7号となりました。創刊より43年。これからも皆さんに楽しんでいただける広報誌を目指し続け、スタッフ、同好会、同好会スタッフ、同好会

高森寮だより ほほえみ

■編集 / 高森寮広報委員会

■発行 / 高森寮

第7号 平成17年5月発行

<住所> 熊本県阿蘇郡高森町色見822

TEL 0967-62-1780

FAX 0967-62-2368